

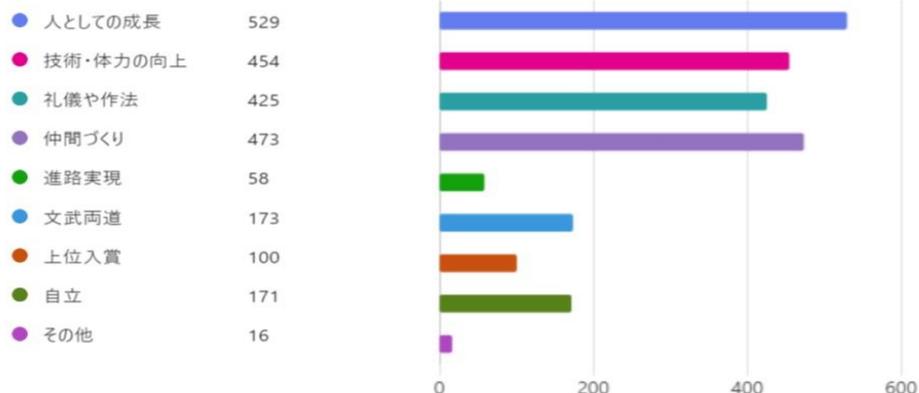
【概要版】鶴岡市部活動改革に関わるアンケート調査結果報告

保護者用

目的：昨年度からの休日の部活動の段階的な地域移行に伴い、現状を把握し、市内における新たなスポーツ・文化環境の整備充実のために実施するもの。

699人回答

スポーツ・文化活動を通して子どもに期待すること



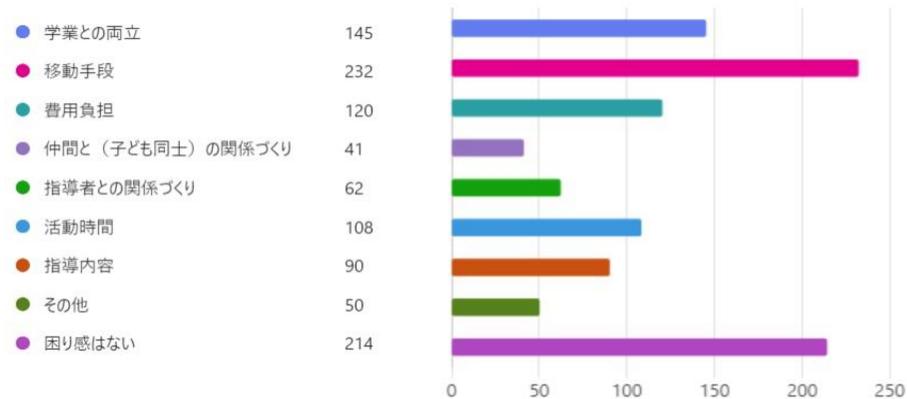
スポーツ・文化活動を通して子どもに期待することとして約75%の保護者が『人としての成長』と回答した。昨年度とほぼ同様である。
 その他として「主体性」「楽しむ」「学校生活以外の居場所」「つらいことでも逃げない姿勢」などがある。

現在の土日休日のスポーツ・文化活動時間及び日数



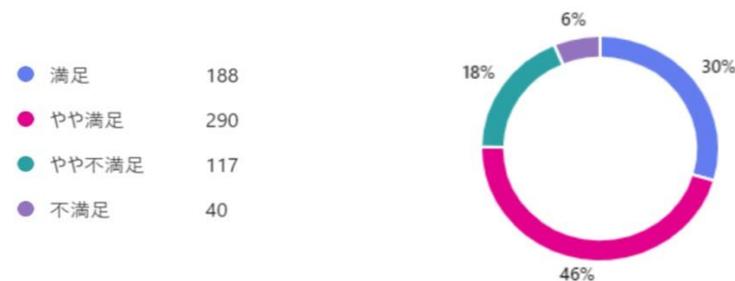
現在の土日休日のスポーツ・文化活動の時間及び日数は、約60%が『丁度良い』と回答した。これは昨年度より4ポイント高い。また、約21%が『多い』または『少ない』と回答した。

現在の土日休日のスポーツ・文化活動での困り感



現在の土日休日のスポーツ・文化活動での困り感として、約33%の保護者が『移動手段』と回答した。昨年度と同様である。
 その他として「指導者が不足している」「顧問とのコミュニケーションができず、苦慮している」「施設を思うように使うことができない」「保護者会での付き添いが負担である」などがある。

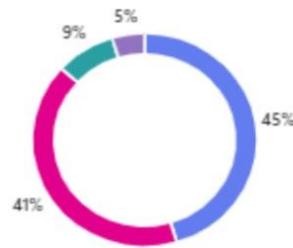
現在の土日休日のスポーツ文化・活動の満足度



現在の土日休日のスポーツ・文化活動の満足度は、約76%が『満足・やや満足』と回答した。昨年度より7ポイント高い。
 不満足の理由として、「地域格差をなくしてほしい」「指導者不足を解消してほしい」「移動にかかる負担が大きい」等がある。

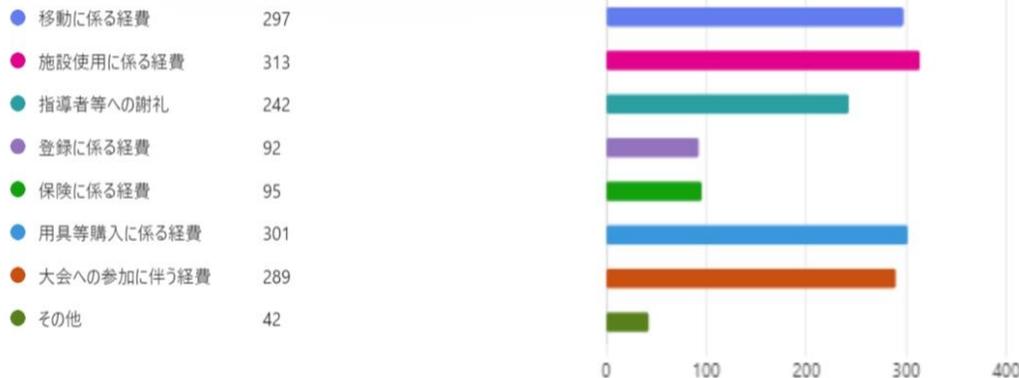
これからの土日休日のスポーツ文化・活動の必要性(注:大会を除く)

● 必要	291
● やや必要	265
● やや不必要	55
● 不必要	30



これからの土日休日のスポーツ・文化活動の必要性は、**約86%**が『**必要・やや必要**』と回答した。昨年度より2ポイント高い。
 不必要の理由として「他の習い事がある」「体を休める時間が必要」「友達との時間をつくる」などがある。

これからの補助制度の必要性



約90%の保護者が、補助は『**必要**』と回答した。昨年度と同様である。
 その他として、「生活困窮者への支援」「スクールバスに対する補助」「大会や遠征に伴う宿泊等に対する補助」「ひとり親への支援」「部顧問に対する支援」などがある。

これからのスポーツ・文化活動の在り方についての意見・要望等

- ・部活動の必要性がなくなってきたように感じる。
- ・転換期で大変であるが、子供達には目標を持ってがんばることができる環境を、大人が整える責任があると思う。
- ・部活動のコーチ、クラブのコーチ間でぎくしゃくしないようにしてほしい。子供の取り扱いにならないようにしてほしい。
- ・現在のようにいろいろな子が入りやすいようなクラブの存在がありがたい。
- ・毎月の会費や遠征費用の負担が大きい。家庭の状況に関わらず、平等に活動に参加できるようにしてもらいたい。
- ・指導者への謝金は今後一層必要である。ボランティアでやっていた指導者が資格取得や審判をするなど負担が増え、対価が必ず必要。
- ・熱中症対策をしっかり講じてほしい。
- ・生徒が少ない、部員が少なくて大会参加、活動が出来てない学校もある。その辺りも考えてクラブ化など、進めて頂きたい。
- ・若い指導者育成など、指導者の確保を安定させてほしい。(多数)
- ・学校から地域へ移行するならば、場所の確保や移動、活動費と部活より様々な負担が個人に掛かってくる。
- ・部活動の時間が少ないため、早くクラブに移行してほしい。
- ・クラブか部活かどちらか一つにしか登録できないようにした方がよい。
- ・少子化も進み、環境に左右されることが多くなってきている。

《考察》

- ・クラブ化に伴い、活動の選択肢が増え、子どもや保護者のニーズに応じた活動が展開され、『満足・やや満足』と回答した保護者が約76%であった。
- ・移動手段やそれに伴う経費について負担が増えたと感じている保護者が見られる。
- ・様々な経費の補助の必要性を感じている保護者が多い。